

# 温泉・観光＋地熱のまちづくりへ 新たな地熱資源を探し、地域活性化につなげる (有珠山西麓地域)

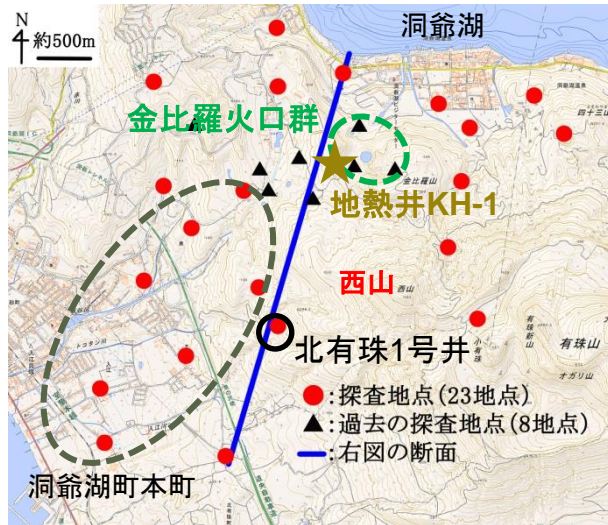
## 背景

- 2013年、金比羅火口群（2000年噴火で形成）近傍で地熱資源開発に成功（地熱井KH-1：130℃、400L/min）  
⇒地質研究所は掘削地点選定のアドバイス、周辺源泉への影響評価、等の協力を行った
- 洞爺湖町「温泉の無い有珠山西麓～本町地域で、地熱資源による地域振興を進めたい」⇒地質研に調査を依頼

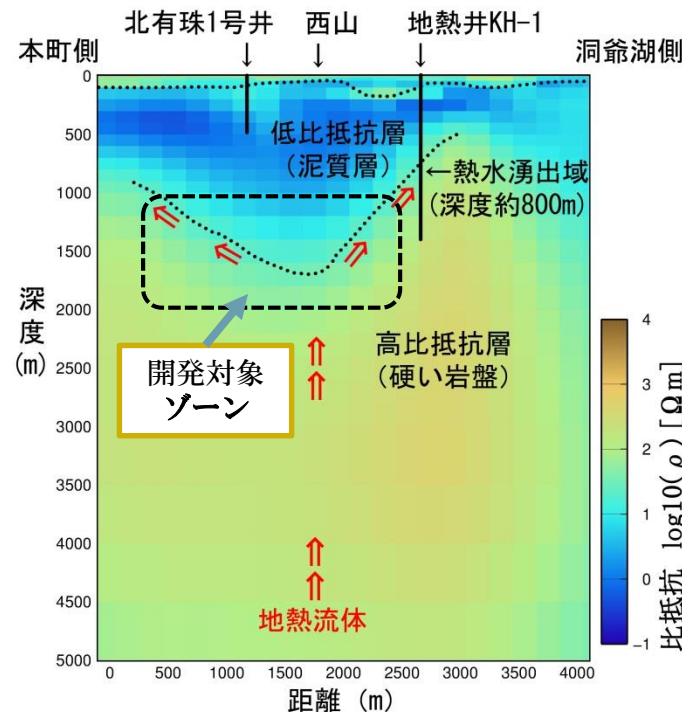
**地熱資源はどこに、どのように存在しているか？ 地表調査開始！**

## 成果

電磁探査を広範囲・高密度に実施  
⇒地下構造解析を行い断面図を作成（右図）



----- 有珠山西麓～本町地域



- KH-1と同じ起源の熱水が存在する可能性あり！
- 開発検討対象ゾーンが明らかになった！
- ※ただし、温泉地との共生を考慮し、KH-1に悪影響を及ぼさないようにすべき



洞爺湖町は、地熱資源を活用した発電・熱水利用（温泉、農業ハウス等）を検討している企業に本成果を提供

## 期待される効果

開発検討対象ゾーンが明らかになり、地熱資源の有効活用に向けた効果的検討が進められている

⇒ 地熱利用を柱とした「洞爺湖町まちづくり総合計画」の実現に大きく寄与する